

日本性科学会ニュース

第 18 回 日本性科学会近畿地区研修会 (オンライン開催)

日 時：2025 年 2 月 2 日 (日) 10:00 ~ 13:00

テーマ：性に関する活動から学ぶ 参加費：会員 3,000 円 / 非会員 5,000 円 / 学生 1,000 円

単 位：日本性科学会 資格認定更新単位 5 単位 (※有資格者が対象)

申込み：日本性科学会 HP に掲載予定

プログラム：

10:00	開会式	日本性科学会理事長 針間 克己
10:05 ~ 10:20	本研修会のねらい	織田裕行
10:20 ~ 11:50	性を語る場をつくる ~ NPO と学生サークルの取り組み (仮)	NPO フラット、きょうとイロ 真鼻 弘美
	「響け！ユース保健室」(仮)	NPO フラット
	「立命館大学 LGBTQ + 活動団体 rall. の活動紹介」(仮)	立命館大学 LGBTQ + 活動団体 rall.
	「同志社大学 Gender Garden の活動紹介」(仮)	同志社大学 Gender Garden
12:00 ~ 12:50	見えない当事者を支援したい ~ 『『ジュエルっ子物語』絵本原画展』作家 濱田 アキ	
13:00	閉会式	日本性科学会理事 研修担当 織田 裕行

第 27 回性の健康世界学会 (27th Congress of the World Association for Sexual Health)

※第 17 回アジア・オセアニア性科学学会 (AOFS)、オーストラリア性科学者協会 (SAS) の第 6 回性科学実践シンポジウム (SIPS) と共催

会 期：2025 年 6 月 16 日 (月) ~ 19 日 (木)

テーマ：Advancing Sexual Health, Rights, Justice and Pleasure. EVERYONE- EVERYWHERE-EVERY TIME.

演題登録締切：2024 年 10 月 27 日 (日) 早期参加登録締切：~ 2025 年 2 月 28 日

早期参加登録費：WAS メンバー 1,050 AU\$, 低中所得国 880 AU\$, 看護師・フルタイム教師・NGO 従業員 930 AU\$, 学生 550 AU\$

会 場：オーストラリア・ブリスベン Brisbane Convention & Exhibition Centre (BCEC)

H P : <https://www.was2025.org/>

〈『日本性科学会ニュース』の紙面配付終了について〉

既報のとおり、次号をもちまして本紙の紙面配付は終了し、HP の会員ページにての電子発行に切り替えます。但し、当面の間は印刷版を希望される方には郵送も行いますので、希望される方は下記 Google フォームにご記入いただくかメールで事務局へご連絡ください。



「日本性科学会ニュース」郵送継続希望フォーム
<https://forms.gle/qwRLRCBZ83qmxytE7>

発行人 針間克己

発 行 令和 6 年 (2024 年) 9 月

D T P 編集工房一生社

一般社団法人 日本性科学会

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-2-3 森島ビル 4 階

TEL・FAX : 03-3868-3853 E-mail : office@sexology.jp URL : <https://sexology.jp>

第53回 セックス・カウンセリング研修会の報告

テーマ：セックスレス 30年

北里大学看護学部 西 佳子

2024年6月9（日）にお茶の水女子大学国際交流留学生プラザ多目的ホールでセックス・カウンセリング研修会が行われました。5年ぶりに対面とオンデマンドのハイブリッド開催となり、会場は大いに盛り上がりました。セックスレスが、1994年に定義されてから30年の間どのように変化したのか、セックスレスをめぐる事柄について学ぶために、様々な年代・職種の方々が参集しました。

◆内田洋介先生からは、日本性科学会が「セックスレス」を定義した30周年の記念イベントとして、今研修会の開催に至った経緯についてご紹介がありました。

◆阿部輝夫先生からは、セックスレス・カップルを定義したプロセス、セックスレスの原因疾患についてのご講演がありました。阿部先生は30年前に、結婚後も性交がない未完成婚カップルの相談を度々受けたことから「セックスレス・カップル」という言葉を思いつかれたそうです。男性側が性を避ける原因には、回避性パーソナリティ障害（avoidant personality disorder:APD）や自閉スペクトラム症（autism spectrum disorder:ASD）の合併があったのではないかと推察しておられました。この30年の間、症例検討会などで議論を重ね、セックスレスは、「特殊な事情が認められないにもかかわらず、カップルの合意した性交やセクシャルコンタクトいずれもが1ヶ月以上なく、その後も長期にわたることが予想される場合」と定義することが望ましいのではないかとのご提案がありました。今学会で、このご提案のセックスレスの定義を、新たな「セックスレス」の定義とすることが参加者の総意をもって決定されました（以下の・は、各ご講演のアンケート回答者からの感想を一部抜粋しました）。

・企画の経緯がよくわかり、セックスレスという言葉の歴史を知り感動しました。

・今回新たな定義が定められて、歴史的瞬間に立ち会えて光栄です。

◆林雄亮先生からは、「全国調査にみる若者世代の親密な関係性の変容——新人類からZ世代までのセクシュアリティの軌跡を追う」についてのご講演がありました。

・自分がZ世代なので興味深く聞きました。

・大規模な全国調査の結果は、世界が開けていく感覚がありとても面白かったです。一方で、2005年に男子と女子のデートやキス経験率が逆転した背景に考えを巡らせました。

◆荒木乳根子先生からは、「中高年のセックスレス——配偶者間では？単身者の交際相手との間では？」についてのご講演がありました。

・中高年のセックスレスは、自分の親世代の単身女性の方が心身ともに満足度の高い性経験をしていることも印象的で、考えさせられました。

・荒木先生の優しい語りとは裏腹に、ストレートな語りと分析に興味を持ち聴くことができました。中高年の方々に対し「SEXを手放すのは本当にもったいない」という言葉が心に残りました。

◆パッハーアリス先生からは、「ヨーロッパではなぜセックスレスについて語りにくいのか——オーストリアと日本の比較」についてのご講演がありました。

・大変興味深く、もっと聞きたいと思いました！ 諸外国のセックスレス事情は貴重な情報でした。

・性差別、性機能障害、性暴力など、東西で共通のものもありながら、価値観が違ってくるのとはとても興味深い。両者の底に流れているものから、より本質的なものが見えそうです。

◆此下千晶先生からは、「セックスレスって良くないこと？——“他者に性的に惹かれない”アセクシュアルの視点」についてのご講演がありました。

・アセクシャルをどう捉えるか、多様性の一言では片付けられない多彩さは興味深くもあり、対応する側のスキルの必要性を痛感しました。

・不妊治療のセックスレスに対し、性機能改善に意識を向けていたが、アセクシャルの方の価値観を学び、相談者の声に耳を傾け支援したいと思いました。

◆金子和子先生からは、カウンセリングの際に相談者から得るべき情報と与える情報、面接の姿勢や進め方の具体的なご講義があり、ロールプレイを行いました。子どもを望む夫婦のセックスレスとアセクシュアルの事例では、活発な意見交換が行われました。

・ロールプレイは最近来院される患者さんそのもので、多様な意見が参考になり、明日からの実践に繋がりそうです。

・まとめのディスカッションも含め、楽しく有意義でした。以前と比べて参加者のレベルがかなり上がっていると感じます。

今回の研修会は、「セックスレス」の定義に始まり、若者から中高年、諸外国との比較、アセクシュアル、ロールプレイまで、「セックスレス」について幅広く、深く、学ぶことの多い研修会になりました。今後も、多職種との交流を通し様々な視点や見解に触れることで、性に対しての深い考察を得られる研修会になることを目指して、運営にあたっていきたいと思います。

【追悼】

齋藤宗吾先生を偲んで



現役時代の
齋藤宗吾先生

本学会名誉会員の齋藤宗吾先生が5月22日に逝去された。先生は当学会の前身である日本セックス・カウンセラー・セラピスト協会設立後間もない1980年に理事になられ1984年2月には第4回日本性科学会を神戸市で会長として開催された。まさに学会初期から学会に貢献された功労者である。

私が先生にお目にかかったのは1990年代に性機能学会で1、2回ご挨拶をした程度である。では何故私が先生の追悼文を書かせていただくことになったかというと、先生は鹿児島大学医学部のご出身で同大学泌尿器科に1954年に入局され1966年1月から1972年1月まで助教授を務められた同門の大先輩でいらっしゃるからである。今回先生のことを同門会会長の川原元司先生に伺ってきた（川原先生の奥様のご実家は齋藤先生と家族ぐるみのお付き合いをされていたそうだ）。

齋藤宗吾先生は1928年のお生まれ、島根県浜田市のご出身で前述の通り鹿児島大学泌尿器科に入局された。当時の教授は岡元健一郎先生でご専門はフィラリアによる乳糜尿症や男子性腺機能であった。岡元教授の下で先生は1958年「諸種の睾丸障害に関する研究」で学位を取られた。以来男子性腺機能の研究を続けられ1965年にはMemorial Sloan-Kettering Cancer CenterのWhitmore教授の元へ留学された。なんとご自分でRecommendation Letterをお書きになって留学を許されたらしい。Sloan-Kettering instituteではラットや犬の精巣上体内精子の運動能に亜鉛を与える影響について研究され、1965年のアメリカ泌尿器科学会ニューヨーク地区学術集会で優秀発表の2位を

キラメキテラスヘルスケアホスピタル 内田 洋介



米国泌尿器科学会（NY支部）1965年度論文で準優勝受賞

受賞された。このことはご遺族のお話では先生にとって生涯忘れることのない思い出となっていたようだ。

帰国後助教授に就任され、1970年になると「インポテンツ」（当時の勃起障害の表現）に関する論文を多数発表なさっている。

そして72年神戸大学へ移られ、助教授となられた（当時の神戸大学泌尿器科の石神襄次教授は鹿児島市にあった旧制第七高等学校で岡元鹿児島大学教授と同窓であった）。

77年退官され、神戸市に齋藤クリニックを開業された。

85年には「男の科学 SEX for MEN」を著された。

88年三聖病院の院長に就任された。

50年以上前に男性性機能障害について研究されていた齋藤先生はまさに鹿児島、神戸いや日本の性科学のパイオニアであった。

私が鹿児島大学泌尿器科に入局した1990年代初め、性機能を専門にしている先生はいらっしゃらなかったが、教室にはそれを妨げる空気はなく、むしろ先輩方からいろいろご指導いただいた。これも齋藤先生が切り開かれた道があったからこそと思う。

先生のご冥福をお祈り申し上げます。

資格認定制度の見直しを進めています

資格認定委員会委員長 大川 玲子

日本性科学会の歴史は、アメリカで行われていたセックス・セラピーを日本でも実施する目的で、1979年に設立した「JASCT（日本セックス・カウンセラー・セラピスト協会）」に遡ります。1995年に日本性科学会に名称変更し、学会組織となりました。さらに2023年を期に一般社団法人となりました。

最近では本会カウンセリング室のクライアント数も増えており、遠方からの問い合わせも少なからずあります。また資格取得に興味を持って本会に入会する方も増えています。このニーズに応えるため、全国により多くのセックス・カウンセラー、セックス・セラピスト（以下カウンセラー、セラピスト）を養成することは喫緊の課題と考えています。

このため、すでにお伝えしているところですが、現行の資格認定制度を見直し、より実践的で充実した制度プログラムを目指し準備しています。資格取得後の学びの機会も計画しています。以下、具体的な制度変更内容をご紹介します。

現行制度での資格取得条件は学会雑誌の巻末にありますが、本会の会員歴がカウンセラーでは3年以上、セラピストでは5年以上という条件があります。セラピストには医療職などの資格が必要です。さらにカウンセラー、セラピストでやや異なりますが、本会主催の学術集会や研修会への参加、論文やケースレポートの提出といった要件があります。**新制度では、より具体的な学習要件とともに、セラピストの会員期間を3年に短縮する予定です**（カウンセラーは現行通り3年）。**具体的な学習とは、基本的な性機能不全理論と治療法についてのEラーニング動画**（本会編集の『セックス・セラピー入門 金原出版 2018』に準拠）**の視聴とスクーリング（対面実習）です**。

お知らせしてから新制度設定まで時間がかかっておりますが、カウンセラー、セラピストを目指す方々にとって魅力ある学習プログラムと、アクセスしやすい制度を準備中です。2025年3月ごろまでに公表しますので今しばらくお待ちください。

役員選挙について

一般社団法人日本性科学会の定款では、役員（理事・監事）の任期は1期2年であることが定められており、2024年度末をもって現在の役員の任期が満了いたします。そこで2024年12月～2025年1月ごろにかけて新役員選出の選挙を行うことになります。選挙権（投票する権利）ならびに被選挙権（立候補する権利）は、2024年度分までの年会費をすべて支払っている正会員のみに付与されます。

役員選挙に関する詳細は後日お知らせいたしますが、選挙の円滑な遂行のために次の2点についてお願いを申し上げます。

※年会費のお支払い（お支払いがまだの方）

速やかなお支払いをお願い申し上げます。役員選挙の実施に当たり選挙権ならびに被選挙権の付与ができなくなってしまうと、定款の定めにより、連続2年滞納されると強制退会となってしまいます。お支払いは、クレジットカード決済も可能なオンラインシステム「学会バンク」からお願いいたします。利用方法や、ご自身のお支払い状況等についてのご質問は事務局までお願いいたします。

※Eメールアドレスの届出（まだ届出を行っていない方のみ）

役員選挙は「学会バンク」（オンラインシステム）を使用して行います。このシステムの使用にはEメールアドレスが必要となりますので、速やかな届出をお願いいたします。事務局（office@sexology.jp）へメールでご連絡ください。